『図表でわかる 建築生産レファレンス』正誤表

2017年11月10日第1版第1刷用

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正申し上げます。

該当箇所	誤	正
P.163 図1 註	*共有部分は青色で示した	*共 <u>用</u> 部分は青色で示した
P.181 表1	表名称未掲載	表1 建築プロジェクトに伴うリスク
P.200 右段上から 8 行目	… (略) …割合は、25%ほど… (略) …	··· (略) ···割合は、 <u>20</u> %ほど··· (略) ···
P201 図 2 建築用を中心とした鋼材 (普通鋼)の国内受注量と輸入量	○グラフ中の数値○凡例(下左)棒鋼(国内)	会計 (平均、百万t) 20 40 60 80 100[%] 1981-90 (27.6) 7.7 11.6 4.5 0 1.6 2.3 91-2000 (32.8) 8.7 13.0 5.7 0.0 1.7 3.7 01-05 (27.7) 7.8 11.2 5.3 0.0 72.7 06-10 (24.0) 6.9 9.5 4.1 0.0 7 2.8 11-15 (23.9) 6.2 9.0 4.3 0.0 10 3.4 [年度] **5·10 力年平均[百万1] 棒鋼(国内) 形鋼など(国内) 帯鋼など(国内) 棒鋼(輸入) 形鋼など(輸入) 帯鋼など(輸入)

(2021年7月現在)